

第3期 決算公告

2022年6月29日

東京都港区浜松町二丁目3番1号

株式会社スマレナ

代表取締役 酒井 陽平

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
【流動資産】	【 493,286 】	【流動負債】	【 85,604 】
売掛金	218,606	買掛金	47,598
貯蔵品	11,544	未払金	31,143
前払費用	1,107	前受金	1,254
親会社CMS短期貸付金	244,680	未払法人税等	290
未収入金	17,347	賞与引当金	5,319
【固定資産】	【 10,487 】	【固定負債】	【 678,000 】
(無形固定資産)	(6,659)	親会社CMS長期長期借入金	678,000
ソフトウェア	6,659		
(投資その他の資産)	(3,827)		
長期前払費用	3,827		
		負債の部合計	763,604
		純資産の部	
		【株主資本】	【 Δ259,830 】
		(資本金)	(100,000)
		資本金	100,000
		(資本剰余金)	(100,000)
		資本準備金	100,000
		(利益剰余金)	(Δ459,830)
		繰越利益剰余金	Δ459,830
		純資産の部合計	Δ259,830
資産の部合計	503,774	負債及び純資産の部合計	503,774

注. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 固定資産の減価償却の方法
無形固定資産のうちソフトウェアについては社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
- (2) 棚卸資産の評価基準および評価方法
貯蔵品の評価は主に個別法による原価法によっております。
- (3) 引当金の計上基準
賞与引当金 従業員への賞与支給見込み額のうち、当期対応額を計上しています。
- (4) 収益及び費用の計上基準
収益は実現主義、費用は発生主義により計上しています。
- (5) 消費税等の会計処理
税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	244,680 千円
短期金銭債務	35,136 千円
長期金銭債務	678,000 千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
営業取引によるもの	
仕入高	48,982 千円
販売費及び一般管理費	34,784 千円
営業取引以外の取引による取引高	
営業外収益	395 千円
営業外費用	474 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の総数 普通株式 2,000 株

5. 金融商品に関する注記

- (1) 金融商品の状況に関する事項
当社は、資金運用については短期的な預金及びキャッシュ・マネジメント・システムに限定し、運用しております。
- (2) 金融商品の時価等に関する事項
2022年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下の通りであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
売掛金	218,606	218,606	
親会社CMS短期貸付金	244,680	244,680	
買掛金	(47,598)	(47,598)	

未払金	(31,143)	(31,143)	
親会社CMS長期借入金	(678,000)	(678,000)	

(注1) 負債で計上されているものについては()で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法

上表に記載の項目のうち、売掛金、貸付金、買掛金、未払金については短期間に決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、借入金についても、親会社からの借入であるため、リスクが低く帳簿価額と時価は一致しています。

6. 関連当事者との取引に関する注記

特筆すべき取引はありません。

7. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

当社の顧客との契約から生じる履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は、連結注記表に記載されている事項と同一であります。

8. 1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額	△129,915 円 18 銭
1 株当たり当期純利益	△128,341 円 96 銭

当期純損益金額

当期純損失 256,683 千円

注. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。